

平成 17 年度マクロ経済学初級 II 学期末試験問題

平成 18 年 1 月 24 日

指示にしたがって、以下の設問に答えよ。ただし、講義内容をもとに解答すること。

1. 以下の用語をできるだけ正確に解説せよ（各小問，2 行以内）
 - (a) 財
 - (b) 用役（サービス）
 - (c) 付加価値
 - (d) 実質 GDP
 - (e) 限界消費性向
 - (f) 政府支出乗数
 - (g) 生産関数
 - (h) クラウディング・アウト
2. ここで 3 期モデルを考える。恒常所得仮説にしたがって消費を行う消費主体の今期の収入を 100 とし，1 期先の収入が 120，2 期先の収入が 110 となることが確実視されているとしよう。利子率を 10% とするとき，この消費者の今期の消費支出を小数点以下 1 桁まで求めよ。
3. 以下の 4 問のうち 2 問を選択し，解答せよ。
 - (a) 消費関数が同じだとすると，45 度線モデルと IS-LM モデルでは，それぞれの政府支出乗数は後者のほうが小さいと考えられる。なぜか。
 - (b) 投資支出が利子率と資本減耗率と投資財価格，それぞれの減少関数となるのはなぜか。資本用役価格という言葉を使いながら理論的に説明せよ。
 - (c) 貨幣需要が利子率の減少関数，所得の増加関数となることを説明する，ポーモル・トーピンの在庫理論アプローチとはどんなものか，簡潔に述べよ。
 - (d) ケインズ的な国民所得決定理論と，古典派的な国民所得決定理論の違いは，どのようなところにあるかを具体的に論ぜよ。